

令和 6 年度 医師及び看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画

北村山公立病院

1. 勤務医（医師）の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

1) 医師の勤務状況の把握

項目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
常勤医師数(4/1現在)	2 1 名	2 1 名	2 1 名
短時間正規雇用医師	1 名	1 名	1 名
医師一人当たり 平均超過勤務時間(時間/月)	38.46時間	37.52時間	38.95時間
医師一人当たり 平均超過勤務時間(時間/年)	475.21時間	412.77時間	428.49時間
医師一人当たり 平均宿日直回数(回/月)	宿直 1.5回/月 日直 0.3回/月	宿直 1.2回/月 日直 0.4回/月	宿直 1.4回/月 日直 0.4回/月

2) 医師の勤務体制等に係る取組

項目	具体的な取り組み計画	令和 6 年度の目標	評価	実施状況
①勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	連続当直は行わない体制	継続実施に取り組む	○	毎月当直表の事前チェックを実施
	当直業務の負担軽減を図るため、当直業務を行う非常勤医師の招へい	継続実施に取り組む	○	招聘医師当直回数 平均 3 回/月
②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）	適正な勤務時間の管理 （出退勤時間の把握と休息時間の確保）	勤怠管理システムを利用した適正な勤務時間の把握	○	勤怠管理システムを導入し実施中
③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	予定手術前日は、勤務体制の配慮	継続実施に取り組む	○	第二当直制や宅直制により当直交代できる体制を実施
④当直翌日の業務内容に対する配慮	勤務医の当直翌日の業務軽減と休息の確保	継続実施に取り組む	○	180回取得済
	当直翌日の午後の職務専念義務の免除申請制度（代償休息）の積極的な活用	継続実施に取り組む	○	

3) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担
タスクシフト/シェアの推進

職種	具体的な取り組み計画	令和 6 年度の目標	評価	実施状況
看護師	診察前の情報収集・初診時の予診	継続実施に取り組む	○	実施している
	注射、採血、静脈路確保等の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
	カテーテルの留置、抜去等の処置行為の実施 (尿道カテーテル留置、胃管の挿入及び抜去、 創傷処置、軟膏処置等の実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	血管造影・画像下治療の介助	継続実施に取り組む	○	実施している
薬剤師	病棟等における薬学的管理 (病棟薬剤業務の実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	薬物療法に関する説明等等 (薬剤管理指導業務の実施) (がん患者指導管理、外来化学療法への参画) (中止薬等の説明を実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	プロトコールに沿った処方薬剤の投与量の変更 (院外処方箋疑義照会簡素化プロトコールを作成し 保険薬局からの疑義照会に対応) (化学療法委員会による プロトコール登録による管理)	継続実施に取り組む	○	実施している
	処方提案等の処方支援の実施 (当院採用薬への処方提案) (投与量・投与間隔の処方提案) (カンファレンス・ICT、NSTに参画し 処方を提案)	継続実施に取り組む	○	実施している
	糖尿病患者等への自己注射の実技指導 (外来・病棟からの依頼により 看護師と協力して実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	周術期の薬学的管理 (術後疼痛管理チームの立ち上げ) (手術室への薬剤師配置)		○	実施している (今年度より算定開始)
診療放射線技 師	撮影部位の確認・検査オーダーの 代行入力等の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
	検査画像の異常所見に対する 医師への情報伝達の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
	放射線管理区域における患者誘導の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
	放射線造影検査時の診療の補助 (造影剤注入装置の静脈路への接続) (造影剤投与のための造影剤注入装置の操作) (投与後の抜針及び止血)	継続実施に取り組む	○	実施している (12人中9人受講済)

項目	具体的な取り組み計画	令和6年度の目標	評価	実施状況
臨床 検査技師	臨床検査室での静脈採血の実施 (救急外来を除く外来依頼分の採血)	継続実施に取り組む	○	実施している
	負荷心電図検査等における生体モニター の血圧や酸素飽和度の確認 (電極・血圧計の装着、血圧等確認し 医師到着後に検査を実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	検査に係る薬剤の準備、患者への服用の実施 (外来患者の OGTT、尿素呼気試験の実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	細胞診や超音波検査等の所見の記載 (心臓超音波検査、頸動脈超音波検査、下肢動脈超音 波検査、下肢静脈超音波検査、腹部超音波検査)	継続実施に取り組む	○	実施している
	救急救命処置の場における補助行為の実施 (要請時、心電図の記録を臨床検査技師が実施)	継続実施に取り組む	○	実施している
	画像解析システムの操作 (術中迅速病理診断(遠隔)用スキャナーの操作)	継続実施に取り組む	○	実施している
臨床 工学技士	心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する 生命維持管理装置の操作	継続実施に取り組む	○	実施している
	医師の指示による人工呼吸器の設定変更	継続実施に取り組む	○	実施している
	医師の指示による血液浄化装置の血液、 補液及び薬剤の投与量の設定及び変更	継続実施に取り組む	○	実施している
	全身麻酔装置の使用前準備	継続実施に取り組む	○	実施している
	手術室や病棟等における医療機器の管理	継続実施に取り組む	○	実施している
	各手術等での術者に器材や医療材料を手渡す行為(医 療カテーテル検査、PCI、EVT、ペースメーカー植込、 対外ページング挿入、シャントPTA等)	継続実施に取り組む	○	実施している
	生命維持管理装置を装着中の患者の移送 (人工呼吸器、PCPS装置、IABP装置等)	継続実施に取り組む	○	実施している
理学療法士	リハビリテーションに関する各種書類の 記載・説明・書類の交付	継続実施に取り組む	○	実施している
作業療法士	リハビリテーションに関する各種書類の 記載・説明・書類の交付	継続実施に取り組む	○	実施している
	作業療法実施に当たっての運動、感覚、自動車運転能力、 高次脳機能(認知機能含む)、ADL等の評価	継続実施に取り組む	○	実施している
言語聴覚士	リハビリテーションに関する各種書類の 記載・説明・書類の交付	継続実施に取り組む	○	実施している
	侵襲性を伴わない嚥下検査の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
	嚥下訓練・接触機能療法における嚥下状態等 に応じた食物形態等の選択	継続実施に取り組む	○	実施している
	高次脳機能障害、失語症、言語発達障害、発達障害等の評 価に必要な心理・神経心理学検査種目の実施等	継続実施に取り組む	○	実施している

項目	具体的な取り組み計画	令和 6 年度の目標	評価	実施状況
入退院 支援室職員	入退院支援室職員による入院時の説明の実施	継続実施に取り組む	○	実施している
医師事務 作業補助者	医師事務作業補助者の適正配置	継続実施に取り組む	○	16名配置
	診療録等の代行入力、各種書類、診断書等の作成	継続実施に取り組む	○	実施している
	医師事務作業補助者のレベルアップ	継続実施に取り組む	○	院内研修等を実施

4) 医療連携体制の強化に係る取組

項目	具体的な取り組み計画	令和 6 年度の目標	評価	実施状況
地域の開業医 との連携強化	紹介率、逆紹介率の向上	継続実施に取り組む	○	紹介率 37.30% 逆紹介率 31.81%
	地域開業医との懇談会	継続実施に取り組む	○	懇談会を実施 機関誌による情報提供も継続
	訪問歯科診療の実施	継続実施に取り組む	○	10件
	地域における医療機能の分担	継続実施に取り組む	○	1日平均 入院患者 213.34人 外来患者 387.65人 救急患者 25.13人 救急搬送 6.67件 (年間2,434件)
各種システム の機能強化	電子カルテシステムの機能強化 (医療情報システム委員会)	継続実施に取り組む	○	実施している
	医師派遣元との放射線読影の連携 (日本医科大学・山形大学)	継続実施に取り組む	○	実施している
	スマートフォンによる画像転送	継続実施に取り組む	○	実施している

2. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画

1) 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な

R6年度目標：継続実施に取り組む

項目		具体的な取り組み計画	評価	実施状況
看護職員の増員		募集・求人に関する情報収集と積極的な採用	○	学校訪問・看護協会やマイナビの説明会に参加
		修学資金貸与制度による増員の取り組み	○	新規貸与者3名
業務量の調整		時間外労働とならないよう業務量の調整を行う	○	実施している
看護職員と多職種との業務分担	薬剤部門	病棟等への薬品の配送業務を行う	○	実施している
	臨床検査技師	臨床検査室にて臨床検査技師による静脈採血の実施	○	実施している
	その他 (事務・委託)	各種事務補助業務の支援 受付一次対応などの実施	○	実施している
看護補助者の配置		病棟の補助業務（入浴介助、環境整備等）への看護補助者の配置	○	実施している
短時間正規雇用の看護職員の活用		再任用職員及び会計年度任用職員の配置	○	実施している
多様な勤務形態の導入		3交代制、2交代制の選択	○	実施している
妊娠子育て中介護中の職員に対する配慮	院内保育所	院内保育所を設置	○	実施している
	夜勤の減免	条件により夜勤を一定期間免除する仕組みがある	○	実施している
	半日・時間単位 休暇制度	半日や時間単位で年次有給休暇の取得が可能	○	実施している
	他部署等への 配置転換	勤務可能な部署への配置転換	○	実施している
夜勤負担の軽減	月の夜勤回数の 上限設定	一月8回を上限として設定	○	実施している

2) 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等

項目	具体的な取り組み計画	令和6年度の目標	評価	実施状況
11時間以上の勤務間隔の確保		継続実施に取り組む	○	実施している
夜勤の連続回数が2回まで		継続実施に取り組む	○	実施している
暦日の休日の確保	月1回の暦日の休日の確保	継続実施に取り組む	○	実施している